

## 東日本大震災について

長内 幸一



(おさない・こういち)  
歯科医師  
ICDフェロー

青森県は太平洋に面しているところ、特に八戸地区を中心に津波の被害がありました。建物の倒壊など大きな被害がありましたが、幸い死者は出ませんでした。日頃から津波が来たら線路のところまで逃げろなど、解りやすい指示が出ていたためとも言われています。

地震から半年程して被災地を見ました。テレビでよく見る、大きな船がかなり高い建物の上に横たわっているところがたくさん見られました。ばらばらに壊れた建物が並んでいる場所からかなり高い所にある食堂のぎりぎりまで水に浸かった跡がありました。しかし私が会った人は皆明るくて被災者とは思えない程でした。復興にむけて懸命に生きている姿に感動しました。

青森県歯科医師会には、義援金が寄せられました。台湾の高雄市の歯科医師会は青森県歯科医師会と姉妹会の締結をしている関係もあって、数百万円の義援金が寄せられております。これらのうち被災した会員に見舞金を送り、残りの大部分を、被害の大きかった福島、宮城、岩手県歯科医師会にそれぞれ、義援金として会長からお渡ししました。

また、震災や津波で亡くなった方の身元確認作業に、青森県歯科医師会から9名の先生が出動されて、身元確認作業に従事しました。

被災からの一日も早い復興を心から望んでいます。